

行健中学校だより



校長室の窓から 生徒が変わる読書活動 校長 齋藤正徳

いよいよ年の瀬、冬本番といった今日この頃。寒さが一段と厳しさを増してきました。間もなく始まる冬季休業中も、屋外より屋内で過ごす機会が多くなるのではないのでしょうか。冬季休業中は、気持ちや時間に普段より余裕をもつことができ、本に親しむ最適な時期だと思います。

過日、朝日新聞に読書にかかわる記事が掲載されていました。

19世紀欧州のある街で、貧しい本好きの少年が毎日、書店のウィンドウに飾られた一冊の本を眺めていた。読みたいけれどお金がない。ある日のこと、本のページが1枚めくられていた。翌日も1枚めくられていて、少年は続きを読んだ。そうして毎日めくられていく本を、少年は何カ月もかかって読み終えることができたそうだ。『月光に書を読む』おとぎ話のような、書店の主の計らいである。(中略)

活字離れが言われる中、朝の読書を行っている小中

高校が2万6千校あるという。全国の7割を超すそうだ。1日あたりは短い、欧州の少年のように、何カ月もかけて一冊に食らいつければ素晴らしい。

2010,11,3 朝日新聞

本校も、朝の読書の時間が設定されています。朝の読書は、睡眠によって脳が最もリフレッシュしている時間で、読書すると脳の血の流れがよくなるので1日の始まりに弾みがつくのです。校内は静寂と集中で満たされ落ち着きが生まれ授業がスムーズに始まり1日の活動効率が上がっています。その他に「情操が豊かになり、他人の喜びや悲しみが想像でき、思いやりがもてる。」「学力向上の土台ができる。」などその効果は予想以上のものがあります。子どもたちが変わる朝の読書を今後も継続していくとともに、この朝の読書が、さらに充実していくようにしていきたいと考えております。ご家庭でも、冬休みを良書に親しむ機会としてぜひ生かしてください。

3 学年受験指導

現在、3学年では私立高校受験、県立I期受験に向けた作文指導、面接指導を行っています。

作文、面接では、主に「志望動機」、「進学後の学習、生活面での目標」、「中学校生活の様子」等が問われ、学力とともに可否の判断材料となります。事前の準備、練習が大切です。



2 学年学年集会開催

水曜日、2学年集会を開きました。石田さんが生徒を代表して2学期の反省をしっかり発表しました。各担当の教員から、冬休み中の学習や自転車の乗り方のマナー等、事故・非行防止指導も行いました。

また、修学旅行の内容について、パソコン部を中心とする文化部の皆さんが、自分達で作ったパワーポイントを用いて、充実した素晴らしいプレゼンテーションを行いました。



1 学年防犯教室開催

15日、冬休みを前に、1学年では郡山北警察署生活安全課の方を講師にお招きして「防犯教室」を開催しました。

講師の先生からは、北警察署管内で今年度の万引きによる補導が約150件にも昇ること、万引きは窃盗罪であること、万引きが非行や犯罪の入り口になることと等、具体的な事例に基づくお話をいただきました。

また、事故や非行から自分自身を守り、安心して暮らすためには、交通マナーや地域や商店等での公共のマナー、法律やルールをきちんと守ることが何より大切だということを教えていただきました。



【来週の行事予定】

- 20日(月) 月12345:B案
- 21日(火) 火123456
- 22日(水) 水123式金5B案
- 終業式(4校時)
- 14:05一斉下校 部活動等なし。
- 23日(木) 天皇誕生日
- 中学生国際交流派遣事業報告会
- 子ども総合美術展(～26)文化センター
- 24日(金) 冬季休業(～1/7)
- 25日(土)
- 県陸上強化合宿(檜葉町)
- 県中学生柔道大会 西部第二体育館
- 26日(日)
- 県中学生柔道大会 西部第二体育館

登下校時、冬季休業中の交通事故防止

12月10日から「年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動」が始まりました。本校でも先週に引き続き、冬季休業を前に学級、学年、学校全体で繰り返し交通事故防止のための交通ルールや交通マナーに関する指導を行っていきます。

特に、登下校時の自転車通学については、横隊での通行等、通行マナーについて地域の方から、また先日実施した保護者アンケートで厳しいご意見をいただきました。自転車による事故は、被害者としてだけでなく加害者としても重大事故となる危険性が高いことを十分に認識させながら、交通マナー、交通事故防止指導をしっかり行いたいと思います。ご家庭でも、以下のご指導をお願いします。

- 自転車による飛び出し事故の絶無(本年度郡山市重点目標)。
- 郡山市で発生した今年度の児童生徒の交通事故38件中21件(約55%)が、児童生徒の飛び出しによる事故である。
- 自転車での登下校時のヘルメット着用の徹底。あごひもも確実に締める。
- 自転車での横隊での通行等、歩行者や通行車両の迷惑になる通行を絶対にしない。
- 道路を横断する際や、交差点に進入する際は安全確認(左右左)を十分に行う。
- 交通ルールを確実に守り、一時不停止、信号無視は絶対にしない。
- 路面凍結時は自転車に乗らない。

